

令和6年度 新潟市中学校新人大会 柔道競技参加校連絡事項について

参加校連絡事項です。全てを一読し、大会へのご支援、ご協力をお願いします。

- 1 柔道大会参加選手の鳥屋野体育館武道場への入場は7:45です。それ以前には、入場をしないでください。本部席、試合場の用具などの準備を該当チームはお願いします。(葛塚・藤見・小針) 準備のないチームは、入場後、指示があるまで剣道場、弓道場で待機してください。
バスを駐車させる場合は、体育館向かいの駐車場に駐車するよう、運転手にお伝えください。バスを一般駐車場に駐車しないよう体育館から言われております。お願いします。また、保護者の入場は計量終了後の8:45とします。厳守のほどよろしくお願いいたします。
- 2 プログラム訂正、欠場者については9:15から行われる代表者会議で確認を行います。コンペティションの部において欠場がある場合は、監督が早めに計量担当に申し出てください。
- 3 計量については、8:15~8:45までの間に行います。計量については、次のように行います。
コンペティションの部
 - ・男女とも上Tシャツ、下柔道衣のズボンが基本。柔道衣の上は着ない。
 - ・時間内に何回行ってもよい。
 - ・女子は計量時に、試合用のTシャツ(全柔連の規定通り)を着用してください。
 - ・ヌード計量が必要な場合は計量係に申し出てください。*チャレンジの部の計量は行いません。
- 4 柔道衣コントロールについて
 - ・開会式後に一斉に行います。
 - ・コンペティションの部、チャレンジの部ともに試合着での競技参加です。各チーム準備をお願いします。
- 5 監督、コーチの服装は、役員・審判員の服装に準ずることが望ましい。ジャージは不可。ただし、県中体連ポロシャツ(2018より販売の物)は認めます。
- 6 会場が狭いので各学校で荷物を整理し、貴重品の管理をお願いします。荷物は武道場廊下、剣道場、弓道場に整理して置いてください。なお、弓道場は飲食することはできません。
- 7 当日朝の練習は、8:00からとします。本部席・試合場の設営担当のチームは担当の指示のもと準備をお願いします。練習場は2面です。場所を譲り合って使うようにしてください。練習は、出場登録した選手のみです。寝技の練習をする場合は、周りを確認し、けがのないようにお願いします。
- 8 試合はタイムテーブルをもとに進行します。コンペティションの部から行き、その後チャレンジの部を行います。タイムテーブルを確認し、試合開始がスムーズに行えるようご協力ください。
- 9 当日は、教育活動の一環の大会であります。外部指導者や保護者の態度・マナーを含め、再度各チームで事前指導をお願いします。場合によっては、会場より退場してもらうこともあります。また、参加選手へもルール・マナーを守って大会へ臨むよう各チームでご指導をお願いします。
- 10 当日、写真撮影等で業者が会場へ入る場合は、本部にお声がけください。また、試合進行の邪魔にならないよう、撮影エリアを守るよう業者へも伝えてください。

- 11 靴袋、ゴミ袋は各校で準備し、ゴミは必ず持ち帰ってください。靴は各自で荷物と一緒に保管してください。例年忘れ物があります。持ち物の管理、記名などをお願いします。
- 12 i P a d等、動画の撮影については、顧問の端末のみ可とします。わかるようタブレットなどに学校名をシールなどで貼ってください。合わせて、写真・動画の撮影をされても、画面に映る方の肖像権保護のため、インターネット・SNS上へのアップロードは、絶対にお止め下さい。会場内にも中体連事務局からの掲示を行い、啓発いたしますが、各チームで徹底するようにお願いします。
- 13 R 5年の優勝校（男子：大形中，女子：葛塚中）はカップを返還してください。
- 14 試合時間について
コンペティションの部 3分 GS（ゴールデンスコア）あり
チャレンジの部 2分 判定
- 15 終了後、該当チームは片付け、清掃をお願いします。
- 16 弁当の注文はありません。各自でご準備ください。

新潟市中学校新人大会 柔道競技

チャレンジの部 固め技（寝技）試合のルールについて

【要項記載】

チャレンジの部は、礼の後、背中合わせの状態から試合を開始し、寝技のみで勝敗を決する。双方の選手間に技による評価(技有)がない、又は同等の場合、判定で勝敗を決する。

【申し合わせ】

- ・ 試合時間は2分間とする。
- ・ 背中合わせの状態から両者右手を挙げ、審判の「始め」の宣告の後、右手を畳に着き時計まわり（右手の方向）にまわり、試合を開始する。
- ・ 試合者は片膝立ちまでの姿勢を可とし、一方の試合者の両膝が畳から離れた場合は待てをかけ、背中合わせの状態から試合を再開する。
- ・ 寝技の攻防で展開が見られない場合、「待て」をかけ、その後、背中合わせの状態から試合を再開する。
- ・ 危険と判断した場合、「待て」をかけ、背中合わせの状態から試合を再開する。
- ・ 通常の試合と同様に、寝技での反則には「指導」を与える。
主な罰則
 - ① 背を畳につけている相手を引き上げ、これを畳に突き落とす。(反則負け)
 - ② 相手の袖口又は下穿の裾口に指を差し入れる。
 - ③ 場外に出るか、相手を故意に場外に押し出す。
- ・ 指導3で反則負けとする。
- ・ 故意に絞め技を使用した場合は指導とする。
- ・ 指導の際は開始線で立った状態で受ける。
- ・ 判定の基準 指導の差 > 10秒以下の抑え込み > 攻勢